



セイタカアワダチソウ

キク科 花期 10～11月

外来植物〈北アメリカ〉

高さ 2.5m にもなり、地下茎でもふえる。茎の先に長さ 10～50cm の大型の花序をだし、直径 6mm の黄色の頭花を多数つける。土手や空き地に大群生する。以前は花粉症の原因と言われたが、関係がないことが明らかになった。



ヨモギ

キク科 花期 9～10月

高さ 0.5～1.2m。9月ごろ茎の先に大きな円錐花序をだし、



小さな頭花を下向きに多数つける。道ばたや土手でよく見られる。春の若葉は草餅に使われる。



オオオナモミ

キク科 花期 8～11月

外来植物〈北アメリカ〉

高さ 0.5～2m。茎は褐紫色を帯びるものが多い。葉は長い柄があり互生し、卵形または広卵形で 3～5 裂する。葉のふちは不ぞろいの鋸歯状。実は表面にカギ状のとげがあり、動物の体にくっついて運ばれる。道ばたなどで見られる。



ツリフネソウ

ツリフネソウ科 花期 8～10月

高さ 50～80cm。花序は葉腋から斜上し、紅紫色の花を数個つける。花は長さ 3～4cm で、実ると果皮がはじけて、種をはじきとばす。名前は細い花柄の先に吊り下がって咲く花の姿を釣舟(吊して使う舟形の花生け)にたとえたもの。いろは親水公園の斜面林の下で見られる。